

平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年4月27日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6954 URL http://www.fanuc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 善治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555  
 定時株主総会開催予定日 平成27年6月26日 配当支払開始予定日 平成27年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 平成27年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期の連結業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	729,760	61.8	297,839	81.5	311,951	78.9	207,599	87.1
26年3月期	450,976	△ 9.5	164,134	△ 11.2	174,360	△ 8.8	110,930	△ 7.9

(注) 包括利益 27年3月期 235,351百万円 (60.9%) 26年3月期 146,267百万円 (△1.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年3月期	1,061.02	—	16.1	21.1	40.8
26年3月期	566.86	—	9.7	13.6	36.4

(参考) 持分法投資損益 27年3月期 9,886百万円 26年3月期 5,452百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期	1,611,626	1,386,695	85.6	7,049.39
26年3月期	1,343,904	1,199,863	88.8	6,102.20

(参考) 自己資本 27年3月期 1,379,177百万円 26年3月期 1,194,032百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期	222,912	△ 24,926	△ 47,314	991,236
26年3月期	125,559	△ 16,468	△ 31,929	823,669

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年3月期	—	76.80	—	93.26	170.06	33,278	30.0	2.9
27年3月期	—	144.69	—	491.93	636.62	124,554	60.0	9.6
28年3月期 (予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 28年3月期の第2四半期末及び期末の配当金につきましては、開示が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	384,000	12.0	159,400	15.2	166,900	15.1	114,100	20.9	583.20
通期	680,100	△ 6.8	264,600	△ 11.2	279,400	△ 10.4	191,200	△ 7.9	977.28

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計処理の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料14ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期	239,508,317株	26年3月期	239,508,317株
② 期末自己株式数	27年3月期	43,863,212株	26年3月期	43,836,033株
③ 期中平均株式数	27年3月期	195,660,546株	26年3月期	195,692,880株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成27年3月期の個別業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	554,448	70.9	230,427	88.6	264,534	98.3	181,327	108.4
26年3月期	324,469	△ 20.3	122,194	△ 24.9	133,428	△ 22.6	86,998	△ 21.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期	926.74	—
26年3月期	444.56	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期	1,317,514	1,160,363	88.1	5,930.96
26年3月期	1,118,523	1,025,253	91.7	5,239.64

(参考) 自己資本 27年3月期 1,160,363百万円 26年3月期 1,025,253百万円

※ 監査手続きの実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。業績予想につきましては、添付資料3ページ「次期(平成27年度)の見通し」をご覧ください。なお、28年3月期の第2四半期末および期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	4
(3) 利益配分に関する基本方針および当期の配当 .....	5
2. 経営方針 .....	6
(1) 経営の基本方針 .....	6
(2) 対処すべき課題 .....	6
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
4. 連結財務諸表 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
(リース取引、有価証券、デリバティブ取引、企業結合等) .....	16

決算発表補足資料

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当期（平成 26 年度）の経営成績

当期における世界経済は、米州で景気の回復・拡大が続き、欧州でも持ち直しの動きが続きました。また、アジアにおいては中国で下振れリスクがありながらも景気は緩やかに回復しました。国内経済につきましては、緩やかな回復傾向が続きました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内およびアジアの機械業界ならびに米州の自動車業界等における設備投資需要が活発に推移しました。また一部 IT 産業の活発な需要が期全体を通して続きました。

このようななか当社グループは、事業の安定と発展のため、当社商品およびサービスについてお客様からより一層信頼されるための取り組みをグループ一丸となって行いました。

平成 26 年度の連結売上高は 7,297 億 60 百万円（前期比 61.8%増）、連結経常利益は 3,119 億 51 百万円（前期比 78.9%増）、連結純利益は 2,075 億 99 百万円（前期比 87.1%増）となりました。

なお当期におきまして、将来の生産能力の増強に備え、栃木県壬生町に新工場用地を取得しました。

部門別の状況は、以下のとおりです。

#### [FA 部門]

CNC システムの主要顧客である工作機械業界は、国内のほか中国を中心とするアジアにおいて需要が好調でした。また欧州についても堅調に推移しました。

レーザにつきましては、国内・海外ともに横ばいでした。

FA 部門の連結売上高は、2,525 億 85 百万円（前期比 13.4%増）、全連結売上高に対する構成比は 34.6%となりました。

#### [ロボット部門]

ロボットにつきましては、海外市場において、米州でさらなる伸びを示したほか、欧州でも好調を維持しました。また中国を中心としたアジア市場、および国内市場においても堅調に推移しました。

ロボット部門の連結売上高は、1,819億88百万円（前期比23.9%増）、全連結売上高に対する構成比は24.9%となりました。

#### [ロボマシン部門]

ロボドリル（小型切削加工機）につきましては、一部IT産業からの短期的な需要が、前年度に比べ当年度は期全体を通して活発な状況が続いたため、売上は大幅に増えました。また国内および海外のその他の産業向けについても堅調に推移しました。

ロボショット（電動射出成形機）につきましては、国内およびアジアを中心に堅調に推移しました。

ロボカット（ワイヤカット放電加工機）につきましては、国内および欧州を中心に堅調に推移しました。

ロボマシン部門の連結売上高は、2,951億87百万円（前期比262.3%増）、全連結売上高に対する構成比は40.5%となりました。

## ② 次期（平成27年度）の見通し

平成26年度において活発だった一部IT産業の短期的な需要が鈍化してゆくことが予想されるなど、平成27年度は予断を許さない状況になるものと思われまます。

現時点での平成27年度（平成28年3月期）の連結業績予想は以下のとおりです。

### 平成28年3月期通期の連結業績予想

	金額（百万円）	前年同期比（%）
売上高	680,100	△6.8
営業利益	264,600	△11.2
経常利益	279,400	△10.4
親会社株主に帰属する当期純利益	191,200	△7.9

注）平成27年4月1日から平成28年3月31日までの期間における為替レートは、平均115円/ドル、120円/ユーロを想定しております。

## (2) 財政状態に関する分析

### 〔財政状態〕

資産合計は、前年度末比 2,677 億 22 百万円増の 1 兆 6,116 億 26 百万円となりました。これは、有価証券（譲渡性預金）が 1,199 億 7 百万円増加したことに加え、現金及び預金が前年度末比 475 億 66 百万円、受取手形及び売掛金が 434 億 29 百万円増加したことが主な理由です。

また負債合計は、前年度末比 808 億 90 百万円増の 2,249 億 31 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 1,868 億 32 百万円増の 1 兆 3,866 億 95 百万円となりました。

### 〔キャッシュ・フロー〕

当連結会計年度における連結キャッシュ・フローは、以下に述べるキャッシュ・フローの増減に為替換算差額 164 億 25 百万円を加算し、前年同期比 723 億 2 百万円増の 1,670 億 97 百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の当連結会計年度期末残高は 9,912 億 36 百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、前年同期比 973 億 53 百万円増の 2,229 億 12 百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が増加したことによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、前年同期比 84 億 58 百万円増の 249 億 26 百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、前年同期比 153 億 85 百万円増の 473 億 14 百万円であり、これは主に配当金の支払が増加したことによるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、配当性向60%を基本方針といたします。また、今後5年間の平均総還元性向(\*)80%の範囲内で、機動的な自己株式の取得を行います。

1. 配当について

当社は、平成19年3月期より現在に至るまで、30%の連結配当性向を表明し、継続して実行してまいりました。株主の皆様への長期的な利益還元を更に充実させるため、平成27年3月期より、連結配当性向60%を基本方針として実施することといたします。

2. 自己株式取得について

成長投資とのバランスを考慮し、株価水準に応じて、今後5年間の平均総還元性向を最大で80%とする範囲内で自己株式取得を機動的に行います。

3. 自己株式の消却について

自己株式の保有は発行済株式総数の5%を上限とし、それを超過する部分は原則として每期消却してまいります。

\* 5年間の平均総還元性向とは、5年間の当期純利益の合計金額に対する配当金と自己株式取得の合計金額の比率です。

当期の配当金につきましては、以下を予定しております。

	上期配当	下期配当 (予定)	年間配当 (予定)	配当性向
当期(平成26年度)	144円69銭	491円93銭	636円62銭	60.0%
(ご参考) 前期(平成25年度)	76円80銭	93円26銭	170円06銭	30.0%

## 2. 経営方針

### (1) 経営の基本方針

ファナックは1956年に日本で民間初のNCとサーボ機構の開発に成功して以来、一貫して工場の自動化を追求してまいりました。

ファナックの基本技術であるNCとサーボから成るFA事業と、その基本技術を応用したロボット事業およびロボマシン事業の三本柱によって、お客様における製造の自動化と効率化を推進することで、国内外の製造業の発展に貢献してまいります。

### (2) 対処すべき課題

当社グループは、ファナック商品は製造現場でご使用いただく設備であるとの原点に立ち返り、お客様の工場におけるダウンタイムを最小にし稼働率向上を図るため、「壊れない。壊れる前に知らせる。壊れてもすぐ直せる。」を商品開発において徹底いたします。

また、①世界中のどこでもファナックのグローバルスタンダードに基づく高度なサービスを提供すること、②お客様が使用し続ける限り保守を続ける「生涯保守」を行うこと、を基本理念とした「サービス・ファースト」を実践してまいります。

そして、「ワン・ファナック」を合言葉に、FA・ロボット・ロボマシンが一体となったトータルソリューションの提供、およびグループ一体での世界のお客様への対応、という当社グループならではの強みを最大限活かしてまいります。

これらをグループ一丸となって推し進めることにより、お客様による当社グループへの安心と信頼を高め、本業が安定、発展し、企業として持続するよう地道に努力してまいります。

## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。



4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当連結会計年度 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	823,670	871,236
受取手形及び売掛金	91,698	135,127
有価証券	93	120,000
商品及び製品	43,857	54,280
仕掛品	35,559	42,859
原材料及び貯蔵品	8,079	11,662
繰延税金資産	20,706	26,686
その他	6,059	13,669
貸倒引当金	△1,920	△2,164
流動資産合計	1,027,801	1,273,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,985	95,024
機械装置及び運搬具（純額）	34,834	30,075
土地	117,543	125,893
その他（純額）	13,111	14,933
有形固定資産合計	262,473	265,925
無形固定資産		
のれん	3,689	-
その他	524	950
無形固定資産合計	4,213	950
投資その他の資産		
投資有価証券	41,744	59,753
その他	7,674	11,643
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	49,417	71,396
固定資産合計	316,103	338,271
資産合計	1,343,904	1,611,626

ファナック(株)(6954)平成27年3月期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当連結会計年度 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,192	40,572
未払法人税等	30,787	72,219
アフターサービス引当金	5,409	6,546
その他	37,061	53,274
流動負債合計	99,449	172,611
固定負債		
退職給付に係る負債	40,456	47,534
その他	4,136	4,786
固定負債合計	44,592	52,320
負債合計	144,041	224,931
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,270	96,277
利益剰余金	1,340,809	1,500,635
自己株式	△312,299	△312,855
株主資本合計	1,193,794	1,353,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,112	7,482
為替換算調整勘定	3,138	29,372
退職給付に係る調整累計額	△8,012	△10,748
その他の包括利益累計額合計	238	26,106
少数株主持分	5,831	7,518
純資産合計	1,199,863	1,386,695
負債純資産合計	1,343,904	1,611,626

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	450,976	729,760
売上原価	227,189	350,746
売上総利益	223,787	379,014
販売費及び一般管理費	59,653	81,175
営業利益	164,134	297,839
営業外収益		
受取利息	2,300	2,628
受取配当金	1,290	1,037
持分法による投資利益	5,452	9,886
雑収入	2,270	2,147
営業外収益合計	11,312	15,698
営業外費用		
投資有価証券売却損	150	-
固定資産除売却損	163	906
売上割引	94	110
寄付金	336	144
雑支出	343	426
営業外費用合計	1,086	1,586
経常利益	174,360	311,951
税金等調整前当期純利益	174,360	311,951
法人税、住民税及び事業税	62,036	111,261
法人税等調整額	812	△8,162
法人税等合計	62,848	103,099
少数株主損益調整前当期純利益	111,512	208,852
少数株主利益	582	1,253
当期純利益	110,930	207,599

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	111,512	208,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,171	2,370
為替換算調整勘定	26,987	22,178
退職給付に係る調整額	-	△2,736
持分法適用会社に対する持分相当額	5,597	4,687
その他の包括利益合計	34,755	26,499
包括利益	146,267	235,351
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	145,139	233,467
少数株主に係る包括利益	1,128	1,884

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	69,014	96,268	1,261,572	△311,636	1,115,218
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	69,014	96,268	1,261,572	△311,636	1,115,218
当期変動額					
剰余金の配当			△31,086		△31,086
当期純利益			110,930		110,930
合併による変動			△607		△607
連結範囲の変動					—
自己株式の取得				△665	△665
自己株式の処分		2		2	4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	79,237	△663	78,576
当期末残高	69,014	96,270	1,340,809	△312,299	1,193,794

	その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,941	△28,899	—	△25,958	4,869	1,094,129
会計方針の変更による累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,941	△28,899	—	△25,958	4,869	1,094,129
当期変動額						
剰余金の配当						△31,086
当期純利益						110,930
合併による変動						△607
連結範囲の変動						—
自己株式の取得						△665
自己株式の処分						4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,171	32,037	△8,012	26,196	962	27,158
当期変動額合計	2,171	32,037	△8,012	26,196	962	105,734
当期末残高	5,112	3,138	△8,012	238	5,831	1,199,863

ファナック(株)(6954)平成27年3月期決算短信

当連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	69,014	96,270	1,340,809	△312,299	1,193,794
会計方針の変更による累積的影響額			△1,452		△1,452
会計方針の変更を反映した当期首残高	69,014	96,270	1,339,357	△312,299	1,192,342
当期変動額					
剰余金の配当			△46,559		△46,559
当期純利益			207,599		207,599
合併による変動					—
連結範囲の変動			238		238
自己株式の取得				△559	△559
自己株式の処分		7		3	10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	7	161,278	△556	160,729
当期末残高	69,014	96,277	1,500,635	△312,855	1,353,071

	その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,112	3,138	△8,012	238	5,831	1,199,863
会計方針の変更による累積的影響額						△1,452
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,112	3,138	△8,012	238	5,831	1,198,411
当期変動額						
剰余金の配当						△46,559
当期純利益						207,599
合併による変動						—
連結範囲の変動						238
自己株式の取得						△559
自己株式の処分						10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,370	26,234	△2,736	25,868	1,687	27,555
当期変動額合計	2,370	26,234	△2,736	25,868	1,687	188,284
当期末残高	7,482	29,372	△10,748	26,106	7,518	1,386,695

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	174,360	311,951
減価償却費	18,394	21,685
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	123	223
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△28,475	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	40,090	6,081
受取利息及び受取配当金	△3,590	△3,665
持分法による投資損益 (△は益)	△5,452	△9,886
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,418	△37,331
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,488	△17,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,159	11,723
その他	△3,189	1,266
小計	180,514	284,335
利息及び配当金の受取額	5,596	6,379
法人税等の支払額	△61,262	△68,891
その他	711	1,089
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,559	222,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,623	△21,427
その他	155	△3,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,468	△24,926
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△661	△549
配当金の支払額	△31,100	△46,568
その他	△168	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,929	△47,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,633	16,425
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,795	167,097
現金及び現金同等物の期首残高	727,751	823,669
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	470
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	1,123	-
現金及び現金同等物の期末残高	823,669	991,236

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当連結会計年度より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当連結会計年度の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当連結会計年度の期首の退職給付に係る負債が2,234百万円増加し、利益剰余金が1,452百万円減少しております。また、当連結会計年度の損益に与える影響額は軽微であります。

なお、1株当たり純資産額は7.42円減少しております。



(セグメント情報等)

1 セグメント情報

前連結会計年度(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日) 及び

当連結会計年度(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)

当社グループは、ファクトリーオートメーション (F A) の総合的なサプライヤーとして、自動化による生産システムに使用される CNC システムと CNC システムの技術をベースとしたその応用商品の開発、製造、販売を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。

当社グループでは、すべての商品に、CNC、サーボモータが使用されていることから、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけではなく、すべての商品の受注・売上、製造の状況により判断しております。

このように、当社グループにおいては投資の意思決定を全体で実施し、事業セグメントは単一であるためセグメント情報の記載を省略しております。

2 関連情報

当連結会計年度(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	F A	ロボット	ロボマシン	合計
外部顧客への売上高	252,585	181,988	295,187	729,760

(2) 地域ごとの情報

◎ 売上高

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	アジア	その他の地域	合計
123,593	124,057	87,970	391,577	2,563	729,760

(注) 売上高は顧客の所在地別を基礎とし、国又は地域別に分類しております。

◎ 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の 90%超であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,102.20円	1株当たり純資産額	7,049.39円
1株当たり当期純利益金額	566.86円	1株当たり当期純利益金額	1,061.02円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
当期純利益(百万円)	110,930	207,599
普通株式に係る当期純利益(百万円)	110,930	207,599
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	195,693	195,661

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引、有価証券、デリバティブ取引、企業結合等)

決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

## 決算発表補足資料

### 1 連結業績（平成26年4月～平成27年3月）

1) 純利益	2,076億円	(前年比 87%増)	
2) 売上高	7,298億円	(前年比 62%増)	
3) 営業利益	2,978億円	(前年比 81%増)	
経常利益	3,120億円	(前年比 79%増)	売上高経常利益率 42.7%
4) 部門別売上高			
F A	2,526億円	(前年比 13%増)	
ロボット	1,820億円	(同 24%増)	
ロボマシン	2,952億円	(同 262%増)	
5) 受注高	7,691億円	(前年比 59%増)	

### 2 27年度通期業績予想

売上高	6,801億円	(前年比 7%減)
営業利益	2,646億円	(同 11%減)
経常利益	2,794億円	(同 10%減)
純利益	1,912億円	(同 8%減)

### 3 連結業績推移（単位 億円）

